

企 画 名 : ネオニコチノイド系農薬規制を実現するプロジェクト【bee my friend】

団 体 名 : 国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン

1. 報告要旨

グリーンピースでは、持続可能な農業「人間(農業従事者、消費者)にも、生態系にもやさしい農業」が一般的となる社会を目指し、2016年までに2013年時点でのEUと同等のネオニコチノイド系農薬の規制を実現するための活動を2013年末から開始した。まずは、2014年4月からの本格的な活動に先駆け、厚生労働省がネオニコチノイド系農薬クロチアニジンの規制緩和を検討し始めたことから、グリーンピースのウェブサイト上で緊急オンライン署名を開始(1月17日から2月13日)。この署名はグリーンピースのFacebookやTwitter、そしてメルマガ購読者などを通じて広がり、約4週間で12,739筆もの署名が集まり、再審議となった。その後、キャンペーンを開始するにあたり、専用のウェブサイト(<http://beejp.org/>)を開発。また、ネオニコチノイド現状を広く伝えるためにわかりやすくまとめたリーフレットを作成。1年間で8万部を配布した。キャンペーンの認知度拡大に不可欠なパブリックキャンペーンでは、キャンペーンへの参加人数が目標の3万人を大幅に超えて35,362人以上にのぼった。再審議となっていたネオニコチノイド系農薬クロチアニジンの規制緩和に関しては、第二回署名を開始し、9,235筆を農水省に提出し、引き続き働きかけを続けていきたい。

2. 成果物

1. [レポート「消えるハチ」](#)
2. [レポート「したたる毒」](#)
3. [レポート「花と毒薬」](#)
4. [レポート「PLAN BEE 無農薬の生活」](#)
5. [リーフレット「みつばちをまもること＝畑とごはんをまもること」](#)
6. FBグループ「bee my friend」の参加を求めるシール
7. 新聞広告を朝日新聞、読売新聞に掲載(2014.8.8)
8. インフォグラフィック
9. [都道府県アンケート調査・意識調査の報告書](#)
10. 「市民の声が厚労省を動かした」週刊エコノミスト(2014.4.29)
11. [「ミツバチ大量死?の農薬、残留基準緩和へ 厚労省」朝日新聞](#)(2014.12.25)
12. [「ミツバチ大量死」との関連が疑われる農薬に、世界中で規制の動き。日本は逆行」Harbor Business Online](#)(2014.12.31)
13. [「農産物『有機・農薬不使用』マーク、13都県で グリーンピース調べ」オルタナオンライン](#)(2015.2.9)
14. 「ネオニコ農薬食品基準 公募意見『99%緩和反対』なのに 厚生省、無視?さらに緩和案」東京新聞(2015.2.10)
15. [「農産物の『特別栽培』表示では農薬使用の危険度はわからない」Harbor Business Online](#)(2015.2.16)
16. [「ネオニコ系農薬の食品残留基準緩和案で再度パブコメ 21日締切」オルタナオンライン](#)(2015.2.20)
17. 「ネオニコチノイド系農薬 予防原則に立つ規制を」佐賀新聞(2015.2.20)
18. 「ネオニコ農薬基準緩和見直しが一転 さらに16作物の基準緩む」日本消費経済新聞(2015.2.25)
19. [「『ネオニコチノイド規制緩和反対』署名 9235筆を農水省に提出」オルタナオンライン](#)(2015.3.20)